

News Release

2020年3月25日
日立キャピタル株式会社

日本政策投資銀行による「DBJ 環境格付」の最高ランクを7年連続で取得

日立キャピタル株式会社(執行役社長 兼 CEO:川部 誠治/以下、当社)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:渡辺 一/以下、DBJ)が実施する「DBJ 環境格付」において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を7年連続で取得し、本日、「DBJ 環境格付」融資を受けましたので、お知らせします。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により、企業の環境経営度を「環境経営」「サステナビリティ」の2つの観点から評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、「社会価値創造企業」を経営方針に掲げ、SDGsを基点にグローバルにおける社会課題の解決と持続的な成長の両立を志向しており、「2019～2021年度 中期経営計画(以下、2021中計)」において、社会課題に対応した4つの重点事業を設定し、注力していることなどが評価されました。本融資により調達した資金は、当社が注力する「環境・エネルギー」分野での活用を予定しています。

今回、特に高い評価を受けたポイントは、以下のとおりです。

■「DBJ 環境格付」において高い評価を受けたポイント

- (1) 再生可能エネルギーの発電設備をはじめとする環境設備の機器リースや、風力、太陽光などの発電事業、また、それらを活用した電力の地域間連携の推進などを通じて、顧客や社会全体の環境負荷低減に貢献し、「2021中計」においても「環境・エネルギー」を重点事業に位置づけ、さらなる循環型社会の実現に貢献する取り組みを推進している点
- (2) 日立グループなどとの幅広いネットワークを生かし、IoTを活用した車両の安全運行のための新システムの共同開発など、社会課題および顧客課題の解決に貢献すべく、新領域を想定した事業開発への取り組みを推進している点
- (3) 新規事業創出を推進するため、従業員の多様性を大切にしており、企業内起業制度やエクストラキャリア勤務制度を整備し、自ら成長していく人財をサポートするなど、「2021中計」の達成に向けて、人材開発における独自の取り組みを展開している点

当社は、今後も、地球環境に配慮した事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、「社会価値創造企業」として、絶えず変化するお客様・社会のニーズに応え、新しい価値を創造し提供することで社会の発展と人々の豊かなくらしの実現に貢献していきます。

■報道機関お問い合わせ先

日立キャピタル株式会社

経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目3番1号

TEL 03-3503-2118 (直通)

以上